

令和 6 年 9 月 総務常任委員会 09 月 18 日－01 号

◆7 番（内田昇委員） まず 3 点あるんですが、一番初めに 57 号の害虫、害獣対策の強化について伺います。特に遊水地が主だと思うのですが、例えばイノシシが令和 5 年に初めて 32 件と出ているのですが、まずカミキリとアライグマとイノシシで斜線が引いてあるところがあって、イノシシの目撃数というのは令和 5 年が初めてだったんでしょうか。

○中島正和委員長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 市で把握している内容としては、この 32 件が初めてでございます。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7 番（内田昇委員） クビアカツヤカミキリも令和 4 年から載っていますが、それについてもそうですか。

○中島正和委員長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 市が確認し始めたのはこのときでございます。その前から取組はしておりましたが、被害木を確認し始めたのはこのときです。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7 番（内田昇委員） その前から取組というのは、どういう取組だったんでしょうか。

○中島正和委員長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 平成 29 年から薬剤については一部購入をして、必要に応じて使ってきたというものです。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 令和4年から令和5年に急激に増えているアライグマもそうですし、イノシシに関しては恐らく台風とかで渡良瀬川とか利根川が結構水に流されて、もっと山のほうから来たんじゃないかと思うのです。というのは荒川が秩父のほうから流れてきて、大宮の錦ヶ原の放流所にマムシが出るとかというのが、もう随分10年も20年も前から発生していると。これは台風によって増水しているということなのですが、イノシシも32件目撃されているということは、この時点で食い止めないと、どんどん増えてしまうと思うのです。これはもう結果としてこういう報告ですが、それは対策についてもう少し強化したほうがいいと思うので、その辺についてはどういようにお考えですか。

○中島正和委員長 前田環境政策課長。

◎前田辰男環境政策課長 質疑でもご答弁させていただきましたが、目の前の対策というものもありまして、今回の補正で上げさせていただいているものは、割と北川辺を中心に実際の目撃とか被害情報、家庭菜園とか、そういうところの防除、あるいは確認をするためのものなんです。それと広域的に根本から対策をし直そうというのは、これは複数の県でつくっている捕獲協議会というのがございますけれども、そちらのほうで、ドローンで全頭数調査をしたりとか、あと、捕獲については箱わな以外のくくりわなという足をしばるというようなを行った、そういうものを使ってこれまで20頭だった目標を100頭に目標を改めたというふうな形で、近隣市町村、県と共同してやっているというような対策が講じられているところでございます。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） そもそも温暖化による気候変動で雨が多くなったりして、気温も上昇したというそういう環境の影響もあると思うので、数の少ないうちにきちっとした対策で防いでおかないと、増える一方だということを提言したいと思います。

続きまして、タブレット上の5ページに当たる保育所等の性被害についてでございますが、今回びっくりしたんですね。パーティションとかテントとかそういうものを措置すると。国の予算といっても、市の答弁ではそういう被害はまだ確認されていないということでしたが、実際どうなのかというのは、そういう似たような案件というのもあったのかどうか、その辺いかがでしょうか。

○中島正和委員長 関口こども保育課長。

◎関口久美子こども保育課長 似たような案件の報告はございませんでした。

○中島正和委員長 小林すくすく子育て相談室長。

◎小林英憲すくすく子育て相談室長 子育て支援センターにつきましても、似たようなことはございませんでした。案件はございませんでした。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 今のところはそういうことですが、全国的にそういうような報道とかいろんなところでされています。パーティションとか簡易テント、パーティションの場合は例えばカーテンとかそういう、ふだんは折り畳んでということだと思えるんですが、簡易テントなんかというのはやはり現実、物があるわけですから、どういうところにどういうふうに配置しようと考えていますか。

○中島正和委員長 関口こども保育課長。

◎関口久美子こども保育課長 例えば今、幼稚園ですとトイレの前が廊下になっていて、そこで小さい子ですので、トイレで失敗などをしてお着替えが発生しますが、廊下で丸見えになってしまいます。今はただ柔らかいシートが敷いてあるのですが、そこに簡易的に周りの目から隠すようにお着替えができる、そういうパーテーションの使い方も想定してございます。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 私が幼稚園とか小学校のPTAをやっているときとは全然環境が違っているので、どちらかというともどもはスキンシップで育てると。したがってそういう犯罪に結びつくというのは少なかったんですが、非常に困った世の中ですね。まあ頑張ってください。

続きまして、その次のページですが、6ページ目、ソーシャルワーカー、こども家庭ソーシャルワーカーの取得の促進と。これも資料によりますと現在、受講の予定者1名、社会福祉士を養成して、それからこういう部類を、部署を広げていくということですが、その辺のところを現在、社会福祉士の方というのは、どこでどのように仕事をされている方でしょうか。

○中島正和委員長 小林すくすく子育て相談室長。

◎小林英憲すくすく子育て相談室長 すくすく子育て相談室では3名社会福祉士を配置しています。主に児童虐待等をはじめとする児童福祉関連の仕事をしておりますが、また、市全体で社会福祉士のほうを確認しましたところ、高齢介護課2名、生活福祉課3名、障がい者福祉課2名、総合支所に各1名ずつおりまして、計13名いらっしゃいます。社会福祉という専門性のスキルを生かして、各分野でそれぞれの窓口や相談等をはじめ業務を行っておるところでございます。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） この資格というのは、社会福祉士の中で、もう少し専門性があるわけなんですか。

○中島正和委員長 小林すくすく子育て相談室長。

◎小林英憲すくすく子育て相談室長 ソーシャルワーカーの資格につきましては、社会福祉士や保育士なんかも取得ができる要件に入っておりまして、あと、精神保健福祉士、保育士、社会福祉士などをやっている方が、より質を高めるということを目的につくられた資格でございます。

以上です。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） ということは、ここに書いてあるように子どもからお年寄りに至るまで、そういう方々のメンテナンスをするようなポジションということですか。

○中島正和委員長 小林すくすく子育て相談室長。

◎小林英憲すくすく子育て相談室長 こちらのソーシャルワーカーのほう、主に子どもの虐待等をはじめとする、子どもに関する相談内容が講義内容等に

多く含まれておりますので、主に子どもを主とした虐待等をはじめとする様々な相談やいろんな解決をする、支援等につなげることを行っていくために、専門的なスキルを学ぶといった資格になるかと思います。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） この31万5,000円というのは国の補助金が21万プラスということで、それは講習を受ける、資格を受ける費用の意味でしょうか。

○中島正和委員長 小林すくすく子育て相談室長。

◎小林英憲すくすく子育て相談室長 こちらの費用は研修の受講費のほうは11万7,000円、また、受講に係る旅費のほうは12万8,000円の2つの項目でございます。

○中島正和委員長 内田委員。

◆7番（内田昇委員） 分かりました。

これからはもっともっとそういう部類、部署が本当は必要ないんですけれども、必要とされるのでよろしくお願いします。

以上です。